

第108回一般質問一覧表

7.6.25

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
1	村岡栄紀	区域区分の廃止で魅力的な職場の提供を	(1)消滅可能性自治体への該当について ○ここ10年間における「自然減」の推移や特徴は。 ○ここ10年間における「社会減」の推移や特徴は。	部 長
			(2)これまでの人口対策について ○近隣自治体との移住者の奪い合いに終始してしまった感があるのではないか。	
			(3)急速に加速する少子化について ○若者の少なからぬ割合が、様々な環境要因において、子どもを持つことをリスクと考え、その選択を避けているという傾向が見られるが。 ○本市が持続していくために特に重要なことは、社会減を防ぎ、人口減少に歯止めをかけるための社会システムの構築であると考えているが。	
			(4)区域区分廃止による企業誘致への期待について ○企業誘致における制約の緩和と手続きの迅速化は。 ○地域活力の維持は付随的なものなのか。 ○区域区分を廃止しても区域区分と同様の土地コントロールを行う必要があるとは具体的にどういうことか。 ○若者の都会への流失を減らすことが企業誘致の大きなテーマであるべき。	
			(5)地元人材の確保・育成支援について ○デジタル人材育成支援のまちを売りに。	
			(6)区域区分の廃止で魅力的な職場の提供を ○若者が望む雇用創出と、デジタル人材の育成という「2つの雇用の改革」なくして、加速する人口減少からの復活はあり得ないと考えているが。	市 長
2	藤原桂造	高齢者の就労の推進と生きがいを	(1)生産年齢人口の推移について ○過去の推移と今後の見通しは。	部 長

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
			(2)高齢者の就労について ○本市における高齢者の就労状況は。 ○市として高齢者の就労支援の促進に取り組んでいることはあるのか。	答弁 部長
			(3)シルバー人材センターについて ○西脇・多可シルバー人材センターでは、具体的にどのような業務があるのか。 ○定年延長や人手不足の影響でシルバー人材センターの会員数、平均年齢、労働日や時間等、1人当たりの配分金の状況は。 ○会員増に向けて、市として積極的に支援すべきと考えるが。	
			(4)高齢者の健やかな暮らしについて ○高齢者の生きがいづくりや活躍する場として、どのような事業があるのか。	
			(5)「シニア向けお仕事説明会」の提案について ○ハローワークや商工会議所、必要であれば近隣自治体とも連携し「シニア向けお仕事説明会」を行うことを提案する。	
			(6)高齢者の就労推進について ○高齢者の就労や生きがいづくりを含めた社会参画推進について市長の思いは。	
3	東野敏弘	西脇市が目指すべき教育、教育行政のあるべき方向性について	(1)黒田庄地区区長会から出された 7,725筆の署名の重みを、教育委員会としてどう考えているのか。併せて教育委員の果たすべき役割は。 ○「西脇東中学校と黒田庄中学校の統合計画を中止し、西脇中学校を含めた3中学校の統合計画を前倒しすることを求める」黒田庄区長会の署名は、有効署名総数は 7,725筆で、黒田庄地区住民では7割を超える 4,084筆の署名数であった。この署名の重みを、教育委員会としてどう考えているのか。また教育委員会がこれまで「地域や保護者の皆様から大方の理解が得られていると考えています。」と述べてきたがその認識は。併せて、教育委員の果たすべき役割は。	教育長

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
			<p>(2)教育委員会が目指している「コミュニティスクール」の取組の現状と教育委員会への信頼について</p> <p>○教育委員会は、「コミュニティスクール」の取組を進めている。地域との連携により、開かれた学校づくりがますます求められている。「コミュニティスクール」の取組の現状と教育委員会への信頼は。</p>	教育長 部長
			<p>(3)教育委員会が目指す小中一貫教育について</p> <p>○教育委員会は小中一貫教育を目指しているが、どのような小中一貫教育を目指しているのか。</p>	
			<p>(4)小中一貫教育の教育内容、学校形態、小中一貫教育の問題を問う。</p> <p>○教育委員会が検討している小中一貫教育を行う上で必要な学校施設の形態は。</p> <p>○小中一貫教育は「6・3制」「4・3・2制」「5・4制」など、地域の実情に合わせて設置者が区切ることできる。教育委員会はどのように考えているのか。</p> <p>○小中一貫教育で、西脇市の児童生徒の学力は向上すると考えているのか。</p>	
			<p>(5)西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画の見直しについて</p> <p>○推進計画策定時の予想以上に少子化が進んでいる現状を踏まえ、また署名結果と要望を重く受け止め、推進計画における中学校統合計画の見直しを検討すべき時期ではないかと考えるが、教育委員会の見解は。</p>	教育長
4	寺北建樹	文教民生常任委員会における片山市長の答弁について	答申後の関わり方についての答弁は虚偽ではないか。	市長

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
5	藤原秀樹	中学校部活動の地域移行について	(1)中学校部活の現状について ○平日の活動時間について ○経験者が指導しているのか。 ○選択肢について	部長
			(2)部活動の地域移行の活動主体について ○主体はそのまま学校とし、指導のみ地域移行するのか。それとも新たな仕組みのもと、地域団体などが実施するのか。	教育長
			(3)新しい仕組みについて ○神戸市の「コベカツ」などを参考にし、単純明快な仕組みと愛称などを付け、市民の皆さんに理解を得てはどうか。	部長
			(4)活動費用について ○親の経済力に左右されず、望めば誰もが参加できるようにしてはどうか。	市長
			(5)地域移行後の活動主体になる地域団体などについて ○こども未来応援事業の参画事業者、スポーツ少年団や地元企業などの協力が得られれば、今以上に選択肢が増える。できるところから始められないのか。	部長
			(6)地域移行の今後について ○単純明快な新しい仕組みを作り、市民の皆さんの混乱を防ぐことが重要だと思うが、市長、教育長の考えを聞く。	市長 教育長
6	藤原哲也	戸籍法の一部が改正された対応について	(1)令和7年5月26日から施行され、戸籍の記載事項に氏名のフリガナが追加されたが、市民への周知は。 ○フリガナに関する通知書の趣旨が理解されなかった場合、本人が意図せず、戸籍に誤ったフリガナが記載されてしまう恐れがあり、市民への周知は大切であるが、現状は。	市長
			(2)出生届の子の名のフリガナ記載について ○出生届の子の名のフリガナについて、市区町村の窓口で審査するようになっているが、今回の法改正以降、本市ではどのような対応をしているのか。また、認められるフリガナについてどのように周知するのか。	

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
			(3)今回の戸籍法の改正により、今後どのような効果が期待できるか。	市長
		父親の産後うつ防止について	(1)本市の父親の産後うつの状況は。 ○近年父親の育児参加が進み、父親の産後うつが生じることが明らかになってきた。本市の父親の産後うつの状況は。	部長
			(2)父親の産後うつにならないよう予防策を提案する。 ○メンタル不調のリスクを軽減するための、心の診断を推奨する。	
7	高瀬弘行	西脇市におけるPFAS対策と健康調査について	(1)今後のPFAS対策などについて ○これまでのPFASの検査結果をすべてHPでわかりやすく公開すること ○次年度からPFASは水質基準項目として格上げされるが、それを踏まえた当面の対策と中・長期的な対策について（費用対効果の関連も含めて）	市長 部長
			(2)原因を特定するための調査について ○兵庫県と連携して、井戸に関して調査依頼をしているようであるが、具体的な内容は。（実施時期、費用負担など） ○上戸田浄水場近隣の工業系の企業などの廃液などの調査について	
			(3)健康調査の実施について ○前回の議論では、「膨大な作業」や「個人情報の扱い」「統計調査の信頼性」などに課題があるという見解の上で、国に指導や支援を要請しているとの答弁であったが、その後の進捗状況などについて	市長
8	林 晴信	立地適正化計画は都市全体の多角化を目指せ	(1)立地適正化計画の実績と評価 ○居住誘導区域に指定されている地域A及Bに、計画開始後どれだけの人口が実際に移動・定住したのか。 ○居住誘導区域内における空き家率の改善など、客観的な成果は見えているのか、数値的に示してほしい。地域の中にも空き家率が高止まりしている場所があると認識しているが、その原因分析や評価について聞く。	部長

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
			<p>(2)居住誘導を支える移住・定住支援策 ○さまざまな制度の活用件数を教えてほしい。併せて、果たしてそれらの支援策は、居住誘導区域の定住促進に十分貢献できているのか、見直す余地はないのか、市としての評価を問う。</p>	部長
			<p>(3)立地適正化計画は上手く機能しているのか。 ○居住誘導区域AとB、そして小坂町・高田井町・和田町エリアとの子どもの数の比較を教えてほしい。令和7年4月現在の0-4歳児の比較で構わない。子どもの数の変化から、どのエリアが一番西脇市として、若者世代に選ばれているかがわかる。</p>	
			<p>(4)周辺部におけるコンパクトシティの評判 ○周辺部における「立地適正化計画」や「コンパクトシティ政策」の評価というか評判（良くない評判）を認識しているのか。</p>	
			<p>(5)プラスネットワークの再構築 ○現在「+ネットワーク」の基軸として6台のむすブングが周辺部にも運行しているが、それだけで賄えるものではない。周辺部における生活圏の維持に関して、どのような具体的施策を今後に向け、検討されているのか。</p>	
			<p>(6)住民の声を踏まえた立地適正化計画の再検討を ○「短絡的な一極集中」ではなく、「都市全体の多核化」という考え方が必要。中心部、周辺部の住民の皆さんとともに納得感のある計画、真にまちなか活性化+まちそと活性化を目指した「参加型計画再設計」を施した立地適正化計画に衣替えすべきと提案する。</p>	市長

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
9	杉本佳隆	視覚障害者の情報アクセス支援と公共施設のW i - F i 整備は	(1)視覚障害者がスマートフォンを活用できるような操作支援体制はあるのか。	部長
			(2)市内の障害者世帯に対するW i - F i 支援やI C T機器購入補助等は検討しているのか。	
			(3)障害者の家族や友人等のサポーターの方々への情報発信や周知方法と視覚障害者への新たな取組はあるのか。	
			(4)本市においてW i - F i 環境が整備されている場所と整備されていない場所はどこか。今後の整備状況は。	
			(5)S D G s の理念に基づいた包摂的なまちづくり、視覚障害者を取り巻く情報格差の解消、本市としての具体的な取組と今後の方向性について	市長
10	村井正信	「資格確認書」マイナ保険証の有無に関わらず、全員に交付することを求める	<p>(1)今年カード発行が始まった2016年から10年目、マイナポイント事業が始まった2020年から5年が経つ。それぞれの時期に発行されたマイナンバーカード及び電子証明書の有効期限の一つのピークが2025年に訪れる。西脇市では今年度有効期限を迎える対象者は何人いるのか。</p> <p>(2)全国保険医団体連合会が2025年2～4月に行ったマイナ保険証に関する調査を見ると、有効期限切れのトラブルが31%あり、前年の調査時（14.1%）の2倍以上増加したとのこと。有効期限があることや更新する必要があることを知らない人、そして更新を忘れてしまった人が医療機関に行った時はどうなるか。</p> <p>(3)マイナ保険証の登録をしていない人には「資格確認書」が発行されているが、8月1日以降は何人になるか。マイナ保険証をやめて、代わりに「資格確認書」をもらった人は何人いるか。</p>	市長

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
			(4)保険組合からマイナ保険証利用者に送られる「資格情報のお知らせ」とはどのようなものか。	市長
			(5)厚生労働省は、来年2026年7月末までマイナ保険証の有無に関わらず、後期高齢者医療加入者全員に資格確認書を申請なく職権交付する暫定運用を公表した。資格確認書の交付を求める申請が市町村の窓口に集中する恐れがあるためとの理由である。これは後期高齢者医療保険だけではない。国民健康保険加入者にも言える。マイナ保険証の有無に関わらず、市内の国民健康保険に加入する全員に「資格確認書」を配ることを求める。	
		体育館（中学校体育館を除く）における熱中症対策を求める	(1)夏の暑さが厳しくなるにつれ、熱中症の危険性の高まりが増す。西脇市における熱中症対策の現状について聞く。	教育長
			(2)人生100年時代を見据え、健康寿命の増進は重要な課題となる。特にスポーツ活動は、体力維持やフレイル予防など健康寿命増進の要とも言える。多くの市民が「体育館」でのスポーツに励まれているが、現状での熱中症対策としてはどのような対策が取られているか。	
			(3)令和7年度予算に関する「政策形成過程の資料」によると、中学校体育館の空調設備については、令和8年の稼働を目指し、稼働までの期間にスポットクーラーを設置するとある。「小学校体育館」「体育館」の空調設備の予定はどのようなになっているか。	
			(4)「体育館」の空調設備の予定が不確定な場合、稼働までの期間にスポットクーラーを設置することで、安全・快適な活動の環境を確保することを求める。	
			(5)空調設備のある「体育館」もあるが、空調設備使用料が1時間4,000円で、これでは実質使用することは困難である。特例条項などを設けるなど、空調設備の使用料を支払い可能な金額にするように検討を求める。	

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
11	浅田康子	プレコンセプションケアの推進を求める	(1)不妊の状況について ○人数の実績の推移は。	部長
			(2)不妊治療の費用の負担軽減について ○不妊治療の周知、特に先進不妊治療の周知は。 ○一般不妊治療の助成拡大の考えは。	
			(3)プレコンセプションケアの知識の普及啓発と相談支援について ○啓発の方法 ○若者への周知を行い、プレコンサポーターの育成 ○子育てモバイルアプリのプレママ版で情報提供 ○健康的な食事の啓発	
			(4)プレコンセプションケアの計画策定を求める。 ○プレコンセプションケアを普及し、母子の健康を守るには、継続的で計画的な取組が必要である。	
		多文化共生について	(1)外国人住民の居住状況について ○西脇市や北播磨地域の外国人住民の居住状況と今後の見通しは。	
			(2)外国人住民の転入・転出手続きの対応は。	
			(3)外国人子育て世帯への対応について ○外国人の乳幼児の増加が見られる。困りごとの相談は。また、その対応は。 ○小中学校では多文化共生サポーターが配置されているが、認定こども園への派遣の充実や、保育士の研修が必要ではないか。	
			(4)地域での交流について ○地域住民と外国住民の交流の取組状況は。	
			(5)多文化共生推進プランの策定について ○文化的背景を持つ市民が互いの文化や価値観の違いを認め合い、共に支え合う誰もが住みやすい多文化共生のまちづくりを進めていくことが必要ではないか。	

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
12	森脇久夫	中学校統合 について	(1)黒田庄地区区長会からの要望について ○要望への対応と、その関連事項を問う。	市長 教育長
			(2)文教民生常任委員会（6月13日）での質 疑について ○立ち話との認識、他関連事項を問う。	市長